

結女だより

2020年2月1日発行

◎企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800



最も寒さが厳しい月です。しかし春を予感させる行事（節分 立春）があり、この寒さも芽吹きに向けて、もう少しの辛抱です。

インフルエンザやノロウイルスの他、体力を消耗する風邪に向けて、予防に努めましょう。

冷えとは体感だけではなく内臓すべてが冷たくなり、心臓他五臓六腑が機能が低下してしまう症状です。

からだを温めるいろいろな対処を心がけましょう。

★2月より夕食の献立表もお届けします。

デイサービスのお帰りの際、お持ち帰りができます。配達も行います。

1食730円、配達の場合は100円の配達料が付きます。

お問い合わせ、ご注文は、結女までご連絡ください。

《二月》

昨日、白い梅の花が少しだけ咲いているのを見つけました。冬にしては暖かな毎日なので、もう春が来て良いのかしら・・・とさえ思います。雪はこれからでしょうか。

オーストラリアでは2019年9月頃から全土のあちこちで大規模な山火事が起こっています。

そして恵の雨と思いきや今度はやむことなく降り続け豪雨に見舞われてしまい洪水が発生して大変な状況です。

背中や手足にやけどを負ったコアラが、轍の水を飲む映像には心が痛みます。

極端な温暖化（気象危機と言うそうです）が、このような豪雨をもたらすようです。

今年の日本のお天気も心配です。温暖化ストップのために、何ができるかを考えていきたいものです。

【ひとことコラム】

お昼ご飯を食べながら出てきた話を
少しご紹介します。

立春の前日に行われる節分は、2月を代表する伝統的な行事です。中国の大儺(たいな)という行事が起源と言われていて、それが現在でも多くのお寺や神社、そして各ご家庭で行われる2月3日の節分の豆まきのルーツと考えられています。そして、年の数だけ豆を食べて一年の無病息災を願う習慣があります。

さらに邪気が家の中に入ってこないようイワシの頭を刺した柊を、玄関の戸口に飾るといった風習も一般的ですよ。

また、最近では全国に浸透している節分に恵方巻を食べる習慣は、その起源には諸説あるようです。

デーツってご存じですか？ナツメヤシの実でスーパーフルーツの一つです。葉酸が多く含まれているので、妊婦さんや若い女子には最高のドライフルーツです。

コーランにも「家の庭にナツメヤシの木を植えよ」と、あるそうです。

「おたふくソース」には砂糖の代わりに何十年もデーツを使っているそうで、こくとろみがつくそうです。

デーツ部という部があり、その用途を開発しているとのこと。

スーパーでよく見かけるかにかま、日本ではなじみの深い食品ですが、なんと総生産量第一位は日本ではなく、リトアニア(旧ソビエト圏のバルト三国)だそうです。今、世界中でかにかまが高たんぱく低カロリーで大人気。特にフランスでは、サンドイッチに挟んだり、すしの具材と、日常的に使われています。

ただ、呼び名がかにかまではなく、SURI MI(すり身)。

美食の国の人たちが、かにかまをそんなに食べているなんて意外ですね。

いよいよ今年にはオリンピックイヤー。世界各国の人々が日本を訪れます。オリンピック観戦のほか、日本の観光地、日本食を楽しまれると思います。その中で、食文化の違いとして麺類を食べるときのすする行為と、ズルズルという音がなんとも不快に感じるようです。

昔から落語の時そばでもあるように、音を立てて麺を食べるのが美しく感じると思ってきましたが、外国の人には食べる時は音を出してはいけない習慣があるようで、なかなか受け入れられないみたいです。

